

シラバス

教 科	科 目	単 位 数	学 年	コ ー ス	組
地歴公民	日本史探究	3	2	文系NP	9

教科書	詳説日本史（山川出版社）	副教材	新詳日本史（浜島書店）
			時代と流れで覚える！日本史用語（文英堂）

科目の目標	<p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。</p>
-------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

科目の概要	<p>日本史における原始～中世史を扱う。前近代の日本史を学び、日本の国家体制がどのように構築されていったのかを考察する。さらに、中国を中心とした東アジアの国々との交流から日本が受けた影響を学び、それが政治・経済・社会・文化などにどのような影響をもたらしたかを理解する。これらの学びのなかで、生徒自身が問いを設定し解決に努める。</p>
-------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

観点別評価			
3 観 点	○「知識・技能」	○「思考力・判断力・表現力」	○「主体的に学びに向かう態度」
10 の 力	①「知力・学力」	②「課題対応力」、③「論理的思考力」、④「原因分析力」、⑤「傾聴力」、⑥「受信・発信力」、⑦「協働力」	⑧「行動力」、⑨「自己管理能力」、⑩「自己実現力」
観 点 の 評 価	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
評 価 の 方 法	・定期試験 ・小テスト	・レポート課題など、文章化した成果物やプレゼンテーション ・課題を見つけ、解決する過程での議論の様子	・授業中の活動 ・課題への取り組み方 ・自主的な学習や活動

学 習 計 画		
学期	学 習 内 容 (単 元)	単 元 別 学 習 目 標
1 学 期	第1章 日本文化のあけぼの 第2章 古墳とヤマト政権 【1学期 中間試験】 5月19日～22日	旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立、古墳文化の成立過程などを基に、黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、原始社会の特色を理解する。また、東アジア諸国との関係にも着目して、文化の形成や外交政策について、多面的・多角的に考察し、表現する。
	第3章 律令国家の形成 【1学期 期末試験】 7月1日～7日	律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に、古代の政治・社会や文化の特色を理解する。奈良時代における政権の移り変わりを把握しながら、平安時代への移り変わりを考察する。中国大陸・朝鮮半島との関係から国内の政治や文化への影響などに着目して、主題を設定し、古代の国家の形成過程について、事象の意義や関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。
2 学 期	第4章 貴族政治の展開 第5章 院政と武士の躍進 【2学期 中間試験】 10月14日～17日	貴族政治の展開、地方支配の変化や武士の出現などを基に、律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容を理解する。さらに貴族政治の変容と武士の政治進出、土地支配の変容などを基に、古代から中世への時代の転換を理解する。権力の主体の変化、東アジアとの関わりなどに着目して、古代から中世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現する。
	第6章 武家政権の成立 第7章 武家社会の成長 1. 室町幕府の成立 2. 幕府の衰退と庶民の台頭 【2学期 期末試験】 12月1日～5日	武家政権の成立と展開、産業の発達、宗教や文化の展開などを基に、武家政権の伸張、社会や文化の特色を理解する。また、公武関係の変化、宋・元などユーラシアとの交流と経済や文化への影響などに着目して、主題を設定し、中世の国家・社会の展開について、事象の意義や関係性などを多面的・多角的に考察する。また、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。
3 学 期	第7章 武家社会の成長 3. 室町文化 4. 戦国大名の登場 第8章 近世の幕開け 【3学期 学年末試験】 3月4日～9日	織豊政権の政治・経済政策、貿易や対外関係などを基に、中世から近世への時代の転換を理解する。さらに、村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流の影響などに着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現する。